

ふれあい 夢 通信

9号

FUREAI YUME TSUUSHIN
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える山口県教育庁教育企画室
編集ホットライン TEL083・933・4531

特集 高校の特色づくりの取組み
高校が大きく変わります。

今、子どもたちの個性を尊重する
選択幅の広い教育が求められています。
そのため、一人一人の個性やよさを
大きく伸ばすことができるよう学校の
特色づくりが進んでいます。
また、平成14年度から、子どもたちが
自分の個性に応じて行きたい学校を
選べるよう、県立高校普通科の通学
区域が新しくなります。



こ せ い か け る ゆ め は み ら い
「個性 × 夢 = 未来」
 生徒一人一人の夢の実現にむけて…

生徒には、それぞれ個性があり、その個性に合った一人一人の夢をかなえる未来が待っています。そして今、こうした夢の実現にむけて、生徒が自分のよさや可能性を大きく伸ばすようにするため、豊富なメニューの中から、生徒自身が行きたい学校や学科を選ぶことができるような教育システムづくりが求められています。このため、県教委では生徒の多様な学習ニーズに応じることができるよう、総合学科や単位制高校、中高一貫教育校の設置などの新しいタイプの学校づくりをはじめ、特色ある学科・コースの設置や教育課程の工夫・改善などによる特色づくりを推進しています。

総合学科

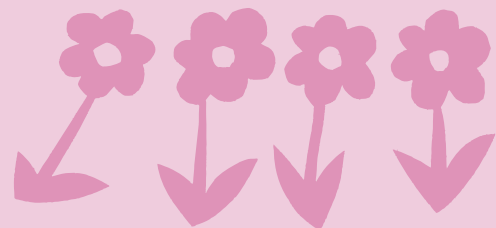
普 通科と専門学科の両方の内容を幅広く学習できる学科です。多くの選択科目の中から、自分の興味や関心、適性や進路希望などに基づいて、必要な科目を自分で選択し、学習することができます。

■設置校

- 宇部西高校(平成10年度)
- 岩国総合高校(平成12年度)
- 光丘高校(平成13年度)

■設置予定校

- 防府西高校(平成15年度)
- 長府高校(平成15年度)



単位制高校

学 年ごとの進級認定がなく、卒業までに決められた単位を修得すれば卒業が認定される高校です。多くの選択科目の中から、自分の興味・関心、進路希望に応じて、学習したい科目を選択できます。

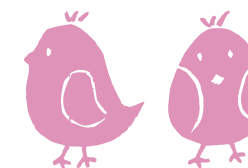
■実施校

- 【定時制課程】 岩国商業高校東分校(平成7年度)
- 【通信制課程】 山口高校(平成7年度)
- 【全日制課程】 岩国高校(平成11年度)

■実施予定校

【全日制課程】

- 熊毛南高校(平成14年度)
- 新南陽高校(平成14年度)
- 宇部中央高校(平成14年度)
- 萩高校(平成14年度)
- 奈古高校須佐分校(平成14年度)
- 下関南高校(平成15年度)



中高一貫教育

ゆ とりある教育の中で、生徒の個性や創造性を伸ばすことをめざして、中学校教育と高等学校教育を一貫して行う学校です。

■実施校

【連携型中高一貫教育】(注①参照)

- 安下庄高校、安下庄中学校、日良居中学校、東和中学校(平成13年度)

■実施予定校

【併設型中高一貫教育】(注②参照)

- 高森高校(平成15年度)

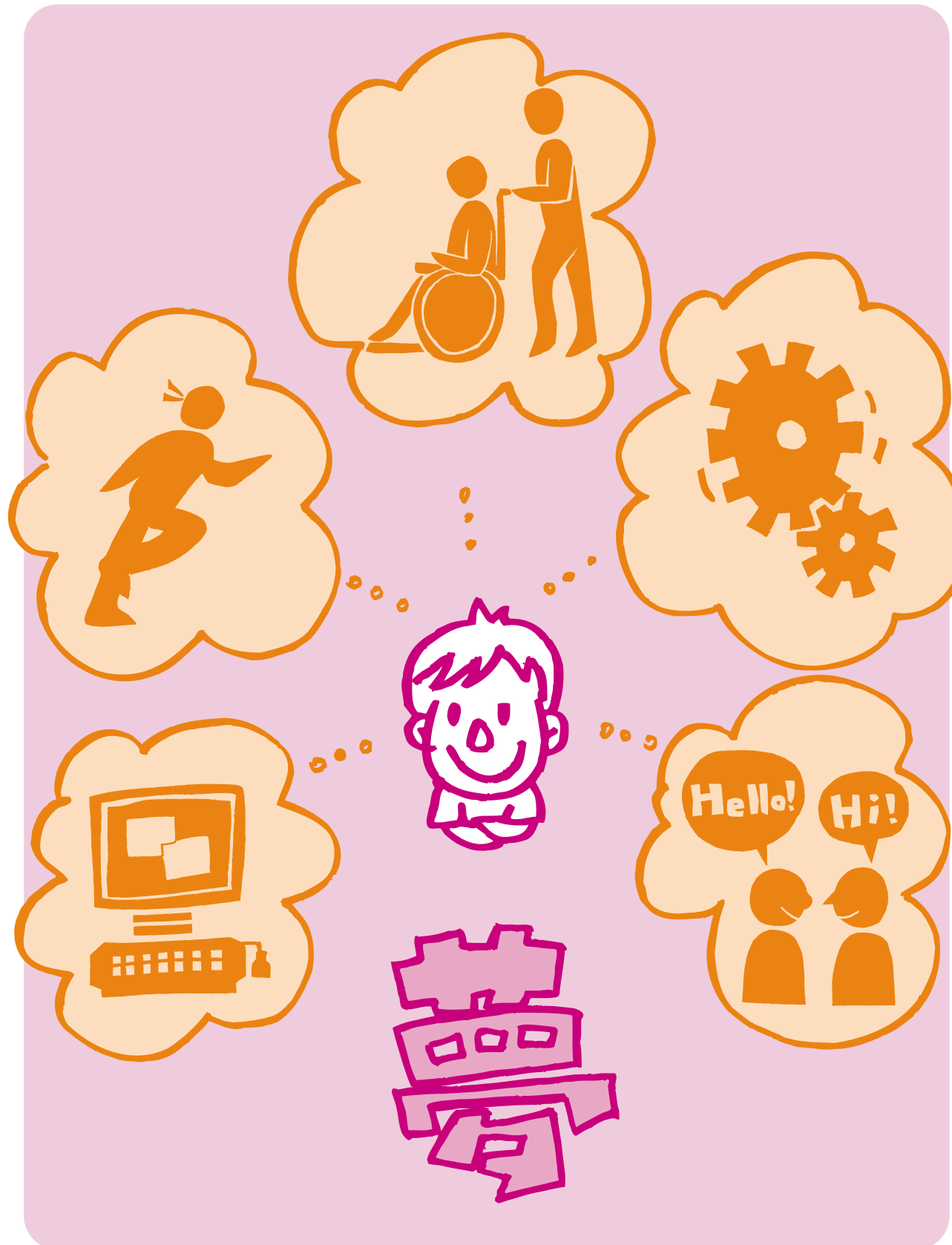
【中等教育学校】(注③参照)

- 下関第一高校(平成16年度)

注① 連携型中高一貫教育校は市町村立の中学校と県立の高校とが教育内容を一緒に考えて決めたり、先生や生徒の交流を活発にして一貫した教育を行うタイプの学校です。連携する高校が行う入試については、学力試験などは行わず、面接や作文などによって行われます。

注② 併設型中高一貫教育校は設置者が同じ中学校と高校で、一貫した教育を行うタイプの学校です。高校入試は行われず6年間を通して継続して学ぶことができます。

注③ 中等教育学校は中学校と高校の区別がない6年制の一つの学校で、高校入試は行われず、6年間一貫した教育が行われます。



農 業、工業、商業、水産、家庭、厚生(福祉、衛生看護)、理数などの専門学科について、社会の変化や生徒のニーズなどに応えられるよう、学科の改編を含め、一層、充実させていきます。また、普通科についても新たなコースの設置などに取り組みます。

■平成14年度改編予定(科名は仮称)

【特色ある学科】

- | | |
|--------|-----------------|
| 柳井高校 | 理数科 |
| 柳井工業高校 | 機械・制御科、建築・情報科 |
| 熊毛北高校 | ライフデザイン科 |
| 華陵高校 | 英語科 |
| 徳山商業高校 | 総合ビジネス科、情報ビジネス科 |
| 厚狭高校 | 服飾文化科、食物文化科 |
| 美祢工業高校 | 電気情報科 |
| 奈古高校 | 生物資源科学科、生活総合科学科 |

特色ある学科・コース

自分の行きたい学校を選ぶことができるよう、 いろいろな取組みを進めています。

高校入試の改善 高校の特色づくりを推進するとともに、中学生が、自分の個性や適性、進路希望に応じて行きたい高校を選択することが一層可能となるように、中学校の進路指導の充実や高校入試の改善にも取り組んでいます。平成14年度の高校入試における改善の主な内容は次のとおりです。

- 1 推薦入学の拡大
- 2 学力検査における傾斜配点の充実・拡大
- 3 第一次募集における調査書等による選抜方法の導入

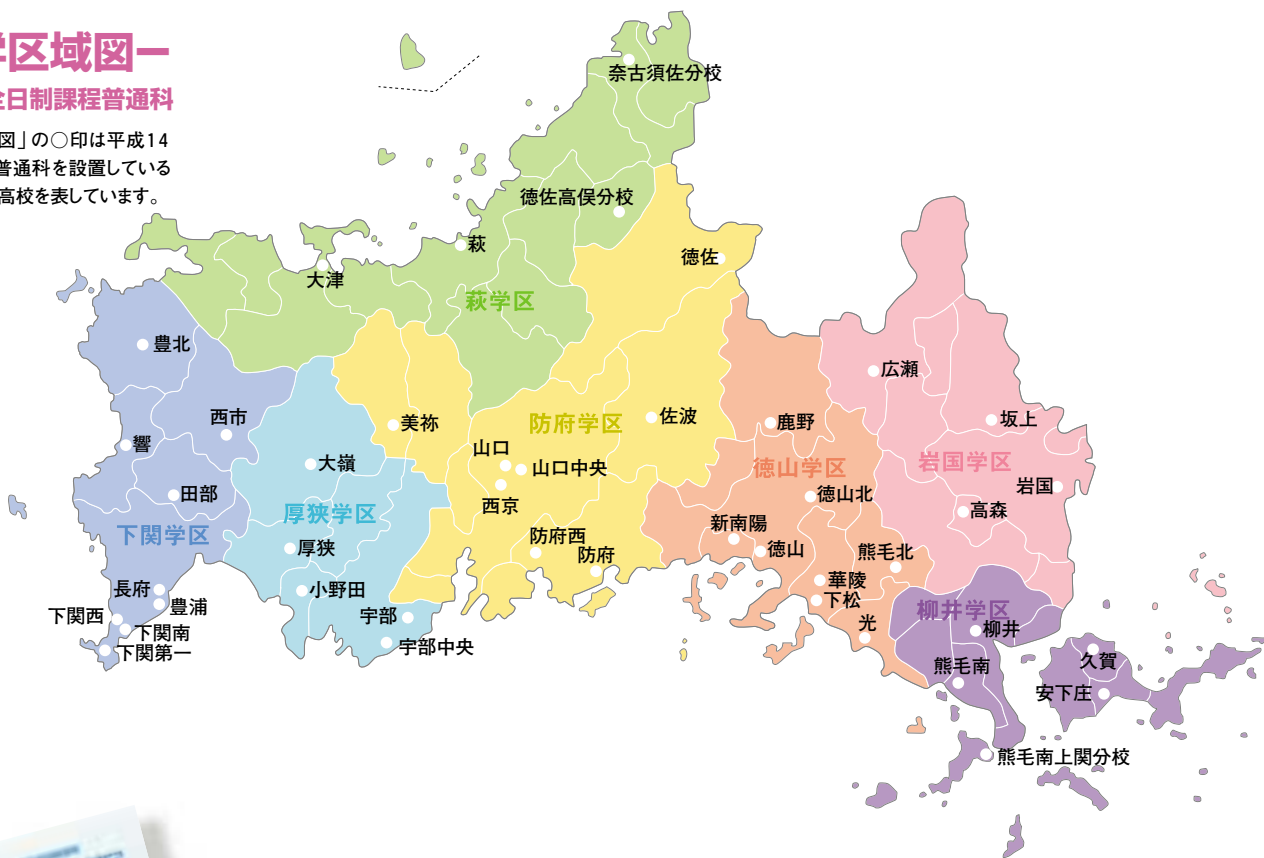
各高校は、この改善内容をもとに、それぞれの学校の特色に応じた多様な選抜方法を実施することになります。

新通学区域の実施 各高校の特色づくりや高校入試の改善とともに、生徒の学校選択幅を広げるため、平成14年度から県立高校全日制課程普通科の新通学区域を実施します。

一通学区域図

県立高校全日制課程普通科

※「通学区域図」の○印は平成14年度において普通科を設置している全日制の県立高校を表しています。



学校紹介ガイドブック「夢の実現に向けて」

各高校の特色や選抜方法などについてまとめた学校紹介ガイドブック「夢の実現に向けて」を作成し、周知に努めています。

今回の特集について御意見や御感想をお寄せください。

教職員課高校改革推進室
電話 083-933-4554

FUREAI KOUSATEN ふれあい交差点 9

未来へ向けるメッセージ

山口県子どもフォーラム

2月8日、周東町パストラルホールにおいて、「伝えよう私たちの思い 届けよう私たちの願い」というテーマのもと、山口県子どもフォーラムが開催されました。

県内の学校関係者やPTAなどで満席となった会場では、地元の周東



走れ、走れ、メロス!

中学校の生徒の司会進行により、県内の7つの小・中学校の代表が、地域での職場体験やボランティア活動から学んだことなどを発表しました。

その中で、高森小は、自分たちで創作したオペレッタ「走れ、走れメロス」を6年生全員で上演し、「今を大切に生きることが、未来へつながる」ことをアピールしました。

その後のパネルディスカッションでは、今ある自然の美しさを未来に残すこと



ちよっぴり緊張(パネルディスカッション)

や、ノリノリ社会の実現を訴えるなど、子どもたちの将来に向けての夢や希望、熱い思いなどが語られ、会場の大人たちも、うなずきながら聴き入っていました。

園児と交わす心のふれあい

山口県鴻城高等学校

今年、創立112周年を迎える山口県鴻城高等学校は、小郡町にある男女共学の私立学校です。

兄弟姉妹の数が少なくなってきた現在の現在、学校では附属幼稚園と連携し、保育ボランティア(園児の保護



おいもの味は?

者)の協力も得て、生徒と園児たちの交流を進めています。

この取り組みは、子どもの純真さやいとしさ、子育ての楽しさなどを感じてもらいたいと4年前に始まったものです。昨年も、おいもの苗植えや収穫、料理、さらにスタンプラリーごっこ、ミニ運動会などを通して、たくさんのふれあいが生まれました。

「どんなことを話そうかな?」と、はじめ



ゴ〜ル! スタンプラリーごっこ

は戸惑っていた生徒たちも、「かわいい園児たちと手をつないで遊んでいると、自然に言葉づかいも優しくなっていく」と、日頃の生活では得られない心豊かで貴重な体験を満足気に話していました。

伝統の酒造りに挑む

県立田布施農業高等学校

昭和31年に醸造科としてスタートした田布施農業高等学校の食品学科では、開設以来、毎年冬に行われる酒造実習が伝統となっています。

酒造りは、米・米麹・水をタンクに入れ、その中で米の分解とアルコール



うまい具合に蒸し上がり

発酵を同時に行わせる作業です。最初から最後まで、常にコウジカビや酵母といった微生物が相手となるため、温度管理や衛生面などには大変神経を使います。

冬の寒い時期にしかできない酒造りは年に一度の勝負です。失敗すればやり直しがきかないという緊張感の中で、この冬も酒造りに挑戦しました。

生徒たちは酒造りの難しさや奥深さ



おいしいお酒ができますように

を通して、生命の神秘や伝統の重みを感じながら、興味をもって実習に取り組んでいるようです。近年では酒造会社へ就職する生徒も出ており、伝統の酒造りは脈々と受け継がれています。

みんなで創ろう「山口きらら博」!

学校を通じて

うちの学校はこんなすごいことができる!

きらら博花壇制作実行委員会

田布施農業高等学校 田布施農業高等学校・大島分校
山口農業高等学校 宇部西高等学校
西市高等学校 日置農業高等学校
徳佐高等学校 奈古高等学校

会場を色とりどりの花や樹木で飾り、きらら博を盛り上げようと、農業関係の学科がある県立の高等学校8校が力を合わせて花壇づくりに取り組んでいます。



精巧な模型を見ると期待はさらに膨らみます

約1,400ヘクタールの区画に、マリゴールドやサルビアなど数万本もの草花や約3,500個のプランター、芝生、レンガなどを配置し、太陽と足跡をイメージした花壇を作る予定になっています。

「21世紀への誓い」と名付けられたこの花壇には「いのちの源である太陽や地球からの恩恵に感謝し、自然と人間とが共存する未来を築こう」という生徒たちの願いが込められています。

3月には、現地での測量や杭打ちが行われるなど、準備は着々と進められています。



何もない地面に「未来」を描いていきます

また、それぞれの学校では綿密な計画に基づいて、花壇やプランターに植える花の苗を大切に育てています。生徒たちは、未来への誓いを胸に、きらら博会期中の2ヶ月間、すべての花がきれいに咲き続けてくれることを祈りながら、花と一緒に自らの夢も大きく育てているようです。



きれいで丈夫な花が咲くといひ

地域を通じて

みんなで考えて最高のイベントをつくろう!

たぶせ山城太鼓

田布施町内の小学校に通う子どもたちが、きらら博のサブイベントホールで山城太鼓を披露することになりました。単なる太鼓の演奏会にはしたくないと、ふるさとの森をテーマにしたミュージカルに挑戦することにしました。



太鼓なら自信満々、意も割れそうなおどろき!

太鼓なら自信を持って叩くことができる子どもたちも、今回はセリフや歌、踊りなど、初めて経験することがたくさん

ある上、みんなの前で歌ったり踊ったりするのが恥ずかしくて、なかなか思いどおりにはなりません。また、鍋やたらい、竹筒で作った「トンガトン」など、太鼓以外にも様々な楽器が登場するので、リズム感覚をつかむのにも苦労しているようです。

山城太鼓は毎年1回定期演奏会を開いていますが、きらら博ではもっと大きな舞台での上演となります。大勢の人々に感動を与えるにはどうすればいいか、高学年の子どもたちが中心となってみんなで考えながら「動作も



みんなの前で踊るのはちょっと恥ずかしいけれど

っと大きく」「もっと力強く」と一所懸命練習しています。8月12日の本番は、きっと表現力豊かな、素晴らしい舞台となることでしょう。



見たこともない楽器は難しいけれど面白い



山口きららバンド

ボランティアスタッフ

こんな参加の仕方もあるよ!

運営ボランティアチーム「燦めき隊」

来場者が、楽しく快適に過ごしていただくためのお手伝いをする運営ボランティアを募集しています。

高校生はもちろん、小・中学生や親子で参加できる方も大歓迎です。

●主な活動

車イスやベビーカーの貸し出し、高齢者や障害のある方の介助、迷子の対応、通訳、会場の美化活動 など

●活動時間

- 全日 9時～18時
- 早番 9時～14時
- 遅番 13時～19時(小・中・高生は18時まで)
- 夜間 18時～21時(小・中・高生は不可)

●参加日数

原則として3～5日(連続でなくても可)

●応募方法

参加申込書に必要事項を記入し、郵便などによりご送付ください。

またインターネットでも応募を受け付けています。

URL <http://www.kiraranet.gr.jp>

*参加申込書は学校を通じて一度配布しています。

●募集締め切り

4月30日(月)

●お問い合わせ先・ご応募先

きららネット事務局「運営ボランティアチーム「燦めき隊」」

☎ 083 (933) 3082

〒753-8501 山口市滝町1-1山口県政資料館1階



⑨ もろくき きらら博



マイハロス、マイハロス! ...ただね タイミングがわるいのも 大切ななんたな

ひと言

親子で元気にきらめいて

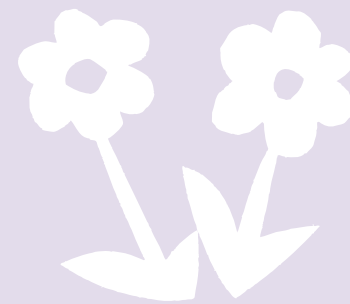


きららネット 運営ボランティアチーム「燦めき隊」 燦めき隊チーフ 山本貴広

「元氣人間登場!」を合言葉に開催する「きらら博」。私たちは、200万人の元氣な人たちが集う今世紀最初のビッグイベントに、県民参加の一環として「きららネット」を結成し、さまざまな形で元氣な人の応援サポートをしています。

中でも、来場者へのおもてなしを行う運営ボランティアチーム「燦めき隊」は、親子で活動される方々を含め、約5千人のボランティアを募集しています。日頃、子どもと触れ合うことが少ない方は、ぜひこの機会にご参加ください。お待ちしております。

子どもの教育は、何と言っても家庭に始まり家庭へと戻るものだと思います。最近多発している青少年犯罪の原因の一つには、やはり家庭で子どものさまざまなサインを見逃している親に責任があるような気がします。親子で素晴らしい汗をかいて、さらに元気にきらめいてほしいと願っています。



イベントカレンダー

5/12(土)～5/13(日)
ぼかぼかお山で自然と遊ぼう
～親子で登山&星空ウォッチング～

対象/幼児とその家族 定員/15家族
● 県十種ヶ峰青少年野外活動センター
☎08395-8-0033

5/26(土)～5/27(日)
我ら洞くつ探検隊

対象/小・中学生とその家族 定員/40名
● 県秋吉台青少年宿泊訓練所
☎0837-62-0106

6/22(金)から14日間
教科書展示会

中央教科書センター他、県内各会場
● 県指導課
☎083-933-4607

6/30(土)～7/1(日)
わんぱくどろんこ塾 PART1

対象/小学生 定員/40名
● 県光青年の家 ☎0833-72-5512

7/7(土)～7/8(日)
さわやかモーニング in IWAKI

対象/小・中学生とその家族 定員/30名
● 県石城山青少年宿泊訓練所
☎0820-48-2108

7/14(土)～7/15(日)
地球にやさしいアウトドア

対象/小・中学生とその家族 定員/40名
● 県秋吉台青少年宿泊訓練所
☎0837-62-0106

7/14(土)～7/15(日)
夏だ!海だ!レッツマリン!

対象/子どもとその家族 定員/50名
● 県油谷青年の家 ☎0837-32-1000

7/21(土)～7/22(日)
やってみいっちゃ! アウトドア入門

対象/親子 定員/60名(20家族)
● 県秋吉台少年自然の家
☎0837-62-0106

7/28(土)～7/29(日)
わくわく 海のだいぼうけん

対象/幼児とその家族 定員/40名
● 県油谷青年の家 ☎0837-32-1000

放送大学をご存じですか?
～多様な生涯学習の機会を提供します～

● 放送大学山口学習センター
☎0836-88-3020

編集室から

「ふれあい夢通信」の内容を充実させるために、皆様からのご意見や感想をお待ちしています。今後取り上げたいテーマなどがありましたら、教育企画室までお知らせ下さい。

山口県教育庁教育企画室
住所 〒753-8501 山口市滝町1-1
電話 083-933-4531
ファックス 083-933-4539
電子メールアドレス fureaiyu@ce.mbn.or.jp



4/24(火)～6/3(日)
テーマ展「トンボと自然」

童謡「赤とんぼ」に代表されるように、トンボは私たちに身近な昆虫です。写真や標本を通して自然に触れてみませんか。

● 県立山口博物館
☎083-922-0294

7/21(土)～7/22(日)
海中散歩してみませんか

～シュノーケリング、寒天づくり、海藻の絵葉書づくり～

マリンブルーの海、輝く星、黄色く色づく島、周防大島での楽しい2日間です。

対象/親子(グループも可) 定員/30名

● 県大島青年の家
☎0820-76-0913



7/22(日)～7/25(水)
ディスカバリーキャンプ

～OBS手法を用いた移動キャンプ～

ロッククライミングやバックパッキングで自分を見つめ、仲間との信頼関係を考えます。大自然の中で「新しい体験」してみませんか。

対象/高校生 定員/20名

● 県十種ヶ峰青少年野外活動センター
☎08395-8-0033

7/28(土)～7/29(日)

8/11(土)～8/12(日)

8/25(土)～8/26(日)

親子のヨット体験教室

ヨットで走る海は最高。風や波との一体感を味わおう!

対象/小学生以上とその保護者の2名以上
定員/7家族 受付/開催日の前月1日～

● 県スポーツ交流村 ☎0833-71-1144



7/21(土)～7/29(日)
チャレンジ・キャンプ

大自然の中での移動キャンプです。新しい自分に挑戦しましょう。

対象/小学4年生～小学6年生 定員/48名

7/26(木)～7/29(日)
親のためのOBSコース

子どもたちと同じコースを後追する形で体験します。

対象/チャレンジ・キャンプ参加者の保護者
定員/10名

8/18(土)～8/28(火)
クエスト・キャンプ

課題解決ゲーム、ロッククライミングなど多様なプログラムが待っています。

対象/中学生、高校生 定員/48名

● 県社会教育課
☎083-933-4626
FAX 083-933-4639
ホームページアドレス
<http://www.pref.yamaguchi.jp/gyosei/s-kyoiku/>